

No.234

2019年
12月号

さくらの

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 12月26日(木)まで

★メイン展示

メリー クリスマス 『Merry Christmas』

今年もいよいよ12月、そしてクリスマスです。図書館では、クリスマスに関連する本を展示しています。クリスマスとサンタクロースの由来に関する本、ツリー・リース・クリスマスケーキなどクリスマスの準備の本もピックアップしていますので、ぜひお立ち寄りください。



●メイン展示図書より(抜粋)

「はたらくくるまたちのクリスマス」・「サンタちゃん」
「わすれんぼうのサンタクロース」・「クリスマスのハンドメイドBOOK」・「ツレヅレハナコのホームパにおいでよ!」

年末年始の休館のお知らせ

12月29日(日)から1月3日(金)まで、図書館は休館となります。その間、返却は自動ドア横の返却ポストをお願いします。

新年は1月4日(土)午前10時開館です!

★サブ展示

「新しい年にそなえて」

今年もあと1ヶ月となりました。サブ展示は、「新しい年にそなえて」と題し、年末年始に気になるあれこれ…、年賀状、大掃除、おせち料理などに関する本を集めてみました。ぜひ、ご利用ください。



●サブ展示図書より(抜粋)

「消しゴムはんこ。で年賀状」・「日本の折形歳時記」
「お正月がやってくる」・「子どもばやしのお正月」
「そうじのひみつ」・「時短そうじの最強レシピ」

「図書館読書クイズ」

ご応募ありがとうございました。

全問正解者には、12月中に記念品を郵送する予定です。



玄関ロビーもクリスマスらしく飾り付けしています。

読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

みちづれの猫

唯川恵 著
集英社

傷ついた女性のもとを訪れ、いやされ、立ち直れば役目が終わったとでもいうように去っていく不思議な猫との話など、人生に傷つき、猫に寄り添われ、救われてきた女性たちの心ふるえる、せつなくて、愛おしい七つの物語。

心あたたくくなる、そんな話がつまった一冊になっています。

ぜひ読んでみてください。

(尾崎)

(児童)

ムーミン谷のクリスマス

トーベ・ヤンソン 原作
フィリップ・ヴィーデルント 絵
徳間書店

ムーミン谷の冬、冬眠中のムーミン一家は突然へムルに「クリスマスが来るぞ!」と起こされてしまいました。いつも10月から春まで冬眠する一家は、クリスマスが何かわかりません。知り合いにもみの木・ごちそう・プレゼントの準備が必要と聞き、わからないながらも揃えていきますが…。

トーベ・ヤンソン原作の『もみの木』が美しい絵本になりました。心あたたまる、やさしいお話。クリスマスにぜひ読んでほしい一冊です。

(山口)

(児童)

食品ロスの大研究

出井留美 著
PHP研究所

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物を食品ロスと言います。

日本では年間約643万トン捨てていることとなります。半分は家庭から出ています。

食べ物は多くの命から生まれていて、食べ物のおかげで私たちは毎日元気に過ごすことができます。

食品ロスを減らすためのヒントがつまっているので、親子で一緒に考えてみませんか？

(岡村)

(一般)

ようかん

虎屋文庫 著
新潮社

もはや、その断面は芸術作品！江戸時代から日本人がこよなく愛し、慣れ親しんできた和菓子「ようかん」。その壮大な歴史を余すことなく綴った保存版。

現在も伝承された技術とともに、季節を重ね前進を続けるようかんの姿。全国の名物ようかんから虎屋の歴史まで、甘党には至極の一冊です。

(樫田)

更けゆく12月に

松澤まり子

お昼ご飯に、お土産にいただいた玄米パンを薄切り二枚に切り、スーパーマーケットで買ったコロッケをケチャップと辛子マヨネーズをつけ挟んでパクリと一口食べてふと思いついた。先日羽田空港で食べた親子丼がお醤油が効いていてちょっとからいなあと感じたことを。そうだった。関東はお醤油の味つけが関西に比べて強いのだ。先月初めの東京出張の際、ホテルの朝ごはんは和食を頼んだのはよかったけれど、切り干し大根の煮物の味つけが濃くて、ああ、ここは関東だったと気がついた。11月は二度も東京へ行った。わたしにしては多い出張だ。二回も同じような気持ちを持ったという学習能力の低いわたし。

いつもお昼後のフライトになる飛行機に搭乗するので東京などに行く時は高知竜馬空港で昼食をとる。いつも決まって某和食屋さんの親子丼を頼んでしまう。卵がふわふわでお味噌汁とお新香もついて何だかほっとする味なのだ。だから次の日の朝、東京で食べた和食の朝ごはんの味つけが濃いなど余計に感じたのだ。

さて、先日の東京出張で面白いことがあった。高知へ帰る日のこと、午後1時過ぎのフライトだったのでお昼ご飯を羽田で食べようと思いつき、少し早めに羽田に着いた。(なんだかいつも空港でご飯を食べるの?と聞かれそうだが、はい、そうです) 空港は(わたしはANA派なので第二ターミナルのところの)天井にきらきらとシルバーのイルミネーションが輝き、青いクリスマスツリーが置かれ、年末ムードが漂っているのを楽しみ眺めながらどこでお昼ご飯を食べようかなと目にとまったお蕎麦屋さんにして、そこに入った。本当は以前行った最上階の展望テラスにある洋食屋さんに行こうかとも思っていたのだが、小雨の日だったので1階の、しかも出発ロビーではなく到着ロビーの、到着して目にするにもあったエレベーター近くの和食屋さんだった。席はそう混んでなく奥の二人掛けのテーブルに着き、ふと横を見ると、なんと高松市の同業者さんが食事をしていないか。以前より仲良くさせていただいてる方だ。「あれ?Tさん?」と話しかけると彼も「松澤さん!」とびっくり。Tさんは保険の講習に来たとかで、わたしはセミナー。お互い同じ会に出席することもあり、そういう時は驚きもしないが、羽田で、しかも数十件ある店の中で隣に肩を並べるとは全く驚きだった。彼は天井とせいろセットを食べていて、わたしは親子丼とせいろのセットにした。お蕎麦は美味し

かったのだが、親子丼は前述したとおり。まあ、美味しかったけど。彼は羽田でゆっくりしようという時間をとって来たそうだ。忙しい方でうちなんかと違う大規模の会社を持っている。地元ではなかなか「ゆっくり」できないんだろうな。来週も東京出張があると話していた。雨が降っていなかったら展望台のところに行くんだけどという彼に共感し、「夜は足元がきらきら点滅するのよね」と話すと「昼もしとるよ」と言う。(展望台は床がイルミネーションになっている)ひとつ教えていただいた。じゃ、またどこかで(笑)と別れ、ちょうどその後、うちの営業担当から電話がかかってきたので、さっきTさんに偶然羽田で会ったのよ、運命みたいでしょ!などと嬉しがって話すと、松澤さん、Tさんは妻子持ちなんだからだめですよなどと諭され…そうだった。運命なんて言うのもみんなそっちを考えちゃうんだよなあ。その気は「まったく」ないわよと伝えた。まったくもう。

加藤和彦の歌に「December 夜が更けて〜いく〜」という歌詞の歌がある。本当に11月終わりから12月には夜は更けていくのだなあ実感する。空気は澄み渡り美しい夕暮れ時には西の空の夕焼け色を眺めて今日はだるま夕陽は見えたかしらんと思ったりする。一年間は四季が巡り毎日同じようになってしまうものもある。人との出会い、仕事のありがたさ、楽しみ、勉強すること、そういうものが今年のわたしを包んだ。今年わたしは何か変わったのだろうか。来年はどんな年になるのだろうか。わたしにとっては初めての日本開催のオリンピックの年だ。皆様の今年はどうでしたか? 来年はどんな年にしたいですか?

皆様、今年も拙い文章をお読みいただきましてありがとうございました。



～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|-----------------------|---------|
| 0 | 「業界別!AI活用地図」 | 本橋洋介 |
| 1 | 「同窓会に行けない症候群」 | 鈴木信行 |
| 2 | 「50歳からのHawaiiひとり時間」 | 永田さち子 |
| 3 | 「夫婦喧嘩は買ったらダメ。勝ったらダメ。」 | 野々村友紀子 |
| 4 | 「月のヨガ」 | サントーシマ香 |
| 5 | 「朝10分でできるスープ弁当」 | 有賀薫 |
| 6 | 「いくつになってもこのコといっしょ」 | 徳田竜之介 |
| 7 | 「消しゴムはんこ。で年賀状」 | 津久井智子 |
| 9 | 「機長、事件です!」 | 秋吉理香子 |
| 9 | 「歩道橋シネマ」 | 恩田陸 |
| 9 | 「暗約領域」 | 大沢在昌 |
| 9 | 「文豪どうかしてる逸話集」 | 進士素丸 |
| 9 | 「彼方のゴールド」 | 大崎梢 |
| 9 | 「スワン」 | 呉勝浩 |
| 9 | 「グッドバイ」 | 朝井まかて |
| 9 | 「タスキメシ-箱根-」 | 額賀滯 |
| 9 | 「約束された移動」 | 小川洋子 |
| 9 | 「沃野の刑事」 | 堂場瞬一 |
| 9 | 「みちづれの猫」 | 唯川恵 |
| 9 | 「まち」 | 小野寺史宜 |
| 9 | 「かか」 | 宇佐見りん |
| 9 | 「星と龍」 | 葉室麟 |
| 9 | 「ブルーブラッド」 | 藤田宜永 |
| 9 | 「倒れるときは前のめり ふたたび」 | 有川ひろ |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|-----------------------------|------------|
| 「あした、また学校で」 | 工藤純子 |
| 「マークの図鑑」 | 児山啓一 |
| 「あたまをつかった小さなおばあさんがんばる」 | ホープ・ニューウェル |
| 「カラスてんぐのジェットくん」 | 富安陽子 |
| 「ハンカチともだち」 | なかがわちひろ |
| 「家庭科室の日曜日 -ももたろうがおおすぎる!-」 | 村上しいこ |
| 「桜の木の見える場所」 | パオラ・ペレットティ |
| 「ふゆとみずのまほうこおり」 | 片平孝 |
| 「食品ロスの大研究 -なぜ多い?どうすれば減らせる?」 | 井出留美 |
| 「図書館からの冒険」 | 岡田淳 |

絵本



- | | |
|-------------------|----------------|
| 「ミライノイチニチ」 | コマツシンヤ |
| 「なんでもモッテルさん」 | 竹下文子 |
| 「ノラネコぐんだんカレーライス」 | 工藤ノリコ |
| 「こどもかいぎ」 | 北村裕花 |
| 「わたしのわごむはわたさない」 | ヨシタケシンスケ |
| 「リュックをしょって」 | 村上康成 |
| 「はたらくくるまたちのクリスマス」 | シェリー・ダスキー・リンカー |
| 「父さんがかえる日まで」 | モーリス・センダック |
| 「ええところ」 | くすのきしげのり |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp